

今回の大震災で町施設最大の被害を受けた一小学校ですが、旧校舎の解体も完了し、新校舎建設が始まりました。学校関係者や町民各界の代表などで熱心に検討を加えた新校舎はきつと素晴らしい校舎として来年完成予定です。

あの震災以来一小的児童の皆さんを始め保護者、教職員の皆様には大変なご苦労をおかけしたことに改めて謝意を表したいと思えます。

児童の皆さんには、この貴重な体験をこれからの人生に生かして頂き困難辛苦に負けない人生を歩んでほしいと願うこと切であります。

発行責任者

議長 渡辺 定己

広報編集委員会

委員長 渡辺 定己
 副委員長 菊地 洋
 委員 長田 守弘
 委員 井土川 好高
 委員 大河原 正雄
 委員 木原 秀男

審議の結果（第6回定例会）

* 渡辺議長は採決に加わらないため空欄

議案の概要		結果	田谷	古川	菊地	長田	小林	畑	井土川	大河原	今泉	仲沼	木原	渡辺
職員の給与に関する条例の一部改正	人事院勧告に基づく通勤手当限度額改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
暴力団排除条例の一部改正	暴力団対策法の改正によるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設の指定管理者の指定	町民プール指定管理者の指定期間延長	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線認定	鏡田517号線 延長280m 供用開始	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駅中央線外道路災害復旧工事変更請負契約	事業量変更に伴う契約額の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第一小学校校舎改築工事請負契約	校舎改築工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道災害復旧工事 (久来石・上町小分区) 変更請負契約	震災復旧工事事業量変更に伴う変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	○
公共下水道災害復旧工事 (不時沼・鏡田・高久田・大池小分区) その1変更請負契約	震災復旧工事事業量変更に伴う変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道災害復旧工事 (旭・緑小分区) 変更請負契約	震災復旧工事の工法及び事業量変更に伴う変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q田谷議員「大幅な増額となっている。掘削工法を変えるというが、深さ等は図面で分かっていたのではないか」 A上下水道課長「深さは3.5～5.5であった。設計指針では簡易工法であったが、試掘した結果、土止めが崩落したので、工法を変更した」 Q木原議員「5,500万の変更だが、契約締結の法的な根拠は何か」 A上下水道課長「今回は土止め工法の変更であるため、新たな契約は不要であるとの県の指導があった」														
公共下水道災害復旧工事 (中央小分区) その1変更請負契約	震災復旧工事の事業量変更に伴う変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道災害復旧工事 (中央小分区) その2変更請負契約	震災復旧工事の事業量変更に伴う変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道災害復旧工事 (境小分区) 変更請負契約	震災復旧工事の事業量変更に伴う変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道災害復旧工事 (雨水)変更請負契約	震災復旧工事の事業量変更に伴う変更請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道事業会計未処分利益剰余金の処分	9月決算に伴う剰余金について企業会計法に基づく議会の同意	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Q木原議員「処分方法はどのようなになるか。根拠は、何か」 A上下水道課長「企業会計法の規定により、建設改良費は任意で積立し、議会の同意を得ることとなる」														
一般会計補正予算 (第5号)	歳入は国庫支出金、復興交付金、ブランドイメージ回復交付金、歳出は基金積立、特別会計繰出、事業量増に伴う344百万増額補正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
Q今泉議員 ①「徴税費の還付加算金、過誤納還付金は何故発生したのか」 ②「がんばるぞ鏡石震災復興基金積立金のブランドイメージ回復について、目的は何か」 ③「民生費に復興基金26百万を繰入した委託料があるが、委託内容は何か」 A 税務町民課長①「境区画整理区域の住宅で、住宅固定資産税軽減の適用漏れがあった。今後は電算チェックをしたい」 A 総務課長 ②「26年度までの間、ブランド回復に向けた事業費用とする。ハード・ソフト両面に使えるものとした」 A 健康福祉課長③「放課後児童クラブ用の児童ふれあい施設建設に係る設計委託費用である」 Q田谷議員 ①「衛生費の廃棄物処分料はいわゆる違反廃棄物と思うが、内容はどうなっているか。監視状況はどうなっているか」 ②「ふれあいの森での植栽委託の内容は何か」 A 健康福祉課長①「内容はテレビの不法投棄35台分。監視員1名が巡回している」 A 産業課長 ②「植林はがけ崩れ防止対策として検討している」														
国保会計補正予算 (第3号)	一般被保険者療養給付費等18千万円増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険会計補正予算 (第2号)	災害減免及び保険料改定に伴い給付費等6千万円増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工業団地事業特別会計補正予算 (第2号)	人件費等調整による財源組み替え	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駅東第1土地区画整理事業特別会計 予算(第1号)	補助事業確定による減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公共下水道事業特別会計補正 予算(第2号)	受益者負担金増額に伴う9百万増額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道事業会計補正予算 (第2号)	工事費及び人事異動に伴う人件費減額補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会条例一部改正	常任委員会委員選任方法を議長指名とする	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



新校舎建設を待つ旧校舎跡地

新校舎建設を待つ

昭和47年以来40年間の思い出が詰まった一小学校舎(写真右)。震災で取壊され、現在は平成26年完成予定の新校舎建設を待っています。



かがみい

議会だより

No.147
 平成25年2月
 発行 福島県鏡石町議会
 編集 議会広報編集委員会
 〒97-4001 福島県鏡石町
 電話0248(62)2110
 不附345
 印刷(南)水山印刷



井土川好高議員

「復興と進化はどう進めるのか」

- 少子高齢化対策の取組み
- マレットゴルフ場の建設
- 三区集会所跡地利用について

質問 東日本大震災からの復興と進化とは、どのようなものか。

町長 震災直後から災害復旧を進めているが、単に町を元の姿に戻す復旧にとどまらず、新たに生まれ変わった光り輝く都市を実現することである。

質問 歩車道の段差を解消し、障がい者や高齢者に優しいように縁石で区切る構造にできないか。

都市建設課長 補助事業では現況復旧の原則のため、新たな構造にすることは難しい。新規に設置するものは段差解消している。

質問 町内には75歳以上の老々世帯や高齢者の一人住まい世帯は、どのくらいあるのか。

健康福祉課長 75才以上の世帯は109世帯。一人住まい世帯は296ある。

質問 高齢者世帯で車の運転が困難な方のために「こまり号」等の車で、送迎できないか。

健康福祉課長 現在、老人福祉センターでバス利用の事業は行っている。自家用車を使った送迎等については、関係機関と協議検討したい。

質問 町内にはマレットゴルフ愛好者がいるが、町内にはプレイできる場所がないので、町外まで出かけている。鳥見山公園にマレットゴルフ場を整備できないか。

教育長 場所の選定や費用対効果を踏まえ、今後の検討課題としたい。

質問 鳥見山公園は平坦な場所がせまく、遊戯施設も少ない。公園の拡充を図るべきと考えるがどうか。

都市建設課長



鳥見山公園に遊具を

鳥見山公園は昭和52年に都市公園として指定されており、現在18ha供用されている。拡張計画は無いが、遊具施設については老朽化したものから入替を検討する。

質問 震災で取壊した3区集会所跡地に、地下水槽を整備した災害備蓄倉庫を建設してはどうか。

総務課長 循環型耐震性貯水槽は、災害時の生活用水確保にも有効である。今後検討したい。

一般質問

「基金積立運用の改善を」

- 特別老人ホームの設置計画
- 健康・福祉相談窓口の設置
- 駅東区画整理事業計画の見直しについて

今泉文克議員

質問 町民の健康及び福祉政策として、総合的な相談窓口や相談センターの設置は考えられないか。

町長 総合保健福祉防災センターといった施設については、復興交付金事業計画の中で位置づけたい。

質問 核家族化が進む中で特別老人ホームといった施設は今後さらに、必要性が増すと思うが、設置計画はあるか。

健康福祉課長 現在のところ新たな施設の設置計画はない。特老長沼ホームについては、平成27年度から増床計画がある。

質問 各基金の積立額と金利は、どのようになっているか。

総務課長 10月末現在19基金で、残高21億4千9百万円となっている。金利は0.025%から

最大で0.3%となっている。

質問 各基金の残高は条例に基づき適正に管理されているか。

総務課長 基金はその目的に則して、法令及び条例に基づいて適正に管理している。

質問 積立金利と借入金利の差額等から基金積立運用の改善が必要と考えるが、どうか。

町長 繰上償還したいが、国からのものはできない仕組みとなっている。国からの補助金は後払い方式のため、一時町が立替えるが、そうした時に基金を有効利用している。

質問 駅東区画整理事業区域に災害公営住宅が決定されたが、設置内容、期間、跡地利用はどうなっているか。杉林住宅との関係はどうか。

都市建設課長

災害公営住宅は一定要件の災害が発生した被災市町村が建設できるもので、一定期間の後、杉林と同じく町営住宅同様の管理運営を行う。

駅東地区の準工業地区においてオーダードモードによる企業誘致を予定しているが、進捗状況はどうなっているか。

質問 駅東地区の準工業地区においてオーダードモードによる企業誘致を予定しているが、進捗状況はどうなっているか。

産業課長 福島県復興優遇措置により動向を調査し、誘致活動を展開している。

質問 駅東事業は様々な要因から先の見えない計画となっており、もう一度計画内容等について、見直し再検討すべきであると考えているが、どうか。

都市建設課長 計画見直しは平成18年度に行われ、事業費も67億円から41億円に縮小された。現在5工区に分けて第1工区に着手しているが、排水計画等今後必要な見直しを進めていきたい。

第6回議会定例会

第6回鏡石町議会定例会は、12月10(日)から14日(金)までの5日間にわたって開きました。今定例会では第一小学校校舎改築工事請負契約締結等議案22件、陳情2件そして意見書1件が上程され、全議案原案のとおり可決しました。また、最終日には町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙も行われ、新たに4名の委員と補充員が選ばれました。

一般質問に8人登壇

12月11・12の両日は本会議で一般質問を行い、11日(火)は6人、12日(水)は2人の計8人の議員が登壇しました。登壇した8人の議員はそれぞれ、町民の代表者として町政全般に渡る懸案事項について、一問一答方式により町執行の事業内容等を問いました。

第一小学校改築工事十五億五千万円議決

第6回定例会では現在仮校舎で授業をしている第一小学校の校舎改築工事請負契約の締結を議決しました。契約金額は15億5千2百万円余で、一般競争入札契約の相手方は仙建工業株式会社となっています。この議決によって、第一小学校新校舎建設工事が進むこととなります。

この他、公共下水道災害復旧工事変更請負契約の締結、条例制定・改正等14議案と7会計の補正予算を議決しました。

陳情2件採択

請願・陳情では「高久田一貫線全面開通について」と「2013年度の教育予算の拡充と教職員定数の改善を求める意見書提出」の2件の陳情が提出され、それぞれ各常任委員会で採択し、本会議で了承されました。



「駅東開発、地権者との約束はどうか」

- 駅東農地の税対策
- 消防団員入団促進
- 農地の除染について

大河原正雄議員

「駅前にカンカン館復活しては」

- 駅前駐車場の利用状況
- 浄水場給水率
- 国道拡幅による迂回道路について

菊地 洋議員



質 問
駅周辺の現状をみると改修整備の必要性を感じる。降りて、歩いてみたくなる駅前整備のために、現在の駐車場が大きなウエイトを占めている。駐車場の利用状況はどうなっているか。

総務課長

駐車場は82区画で定期利用が50区画、一般等が32区画となっている。定期利用は満杯である。

質 問

駐車場等の土地利用について今後、何か考えはあるか。

質 問
駅前の広場としては、特色ある町づくりが大いに活用できるのではないかと考えている。今後検討する。

質 問

震災から休止しているカンカン館事業の復活について、どのように考えているか。

産業課長

カンカン館については建物

取壊しの関係から現在地での事業継続はできない状況である。再開を望む声もあるので、関係団体と協議検討したい。

町 長

駅前の一等地である駐車場にカンカン館を復活させ、町活性化を図ってはどうか。

質 問

町内の上下水道について、未給水地域があるが、今後どのような計画があるのか。

上下水道課長

現在第5次拡張計画を推進しているが、震災被害を受けた施設を耐震化された施設にする必要がある。限られた財源の中で未給水地域対応は難しいが、将来的には全地域給水を目指すこととしている。

質 問

質 問
駅東開発が計画から20年経過した。一部の区画道路整備しか進んでいないが、この間の経過と遅延の理由は何か。

都市建設課長

駅東開発計画は平成元年第2次総合開発計画において決定され、平成12年に事業認可を受けましたが、財政的理由により平成18年に事業が見直された。平成23年には一部仮換地通知したが、3月に大震災が発生した。

質 問

町発展のために宅地造成が必要だとの説明会が開かれ、関係地権者は協力を約束した。やっと工事は始まったが、地権者との約束をどう考えているのか。

都市建設課長

地権者の皆様には、大変申し訳ないと感じている。第1工区については、平成27年度完成を目指している。

質 問

駅東開発区域は現況水田だ

国道拡幅で中央分離帯が設置されるが、右折できない箇所について迂回道路等の新設等は考えているのか。

都市建設課長

拡幅計画の中で迂回用の回転路が計画されている。

質 問

国道が拡幅されても地域住民が不便になつては困る。迂回路や幹線への接続道路建設を計画すべきではないか。

町 長

国道拡幅は渋滞緩和を目的に計画されている。東西の経路については副道もあるが、利便性の観点から今後も検討する。



拡幅工事が進む国道（地下歩道）

が、固定資産税は宅地並み課税となっている。農地として課税できないか。

税務町民課長

課税は法律に基づくもので、市街化区域編入前には戻せないが、固定資産評価額は必要の補正を行い、引下げている。さらに、評価替えでも下落している状況である。

質 問

駅東の進捗状況から事業は長期化している。区域編入前に戻せなければ、その分を町が負担してはどうか。

税務町民課長

負担する場合、その形式は補助金ということになるが、今後検討する。

質 問

現在、町消防団員数は減少しているが、その対策はどう考えているか。

町 長

団員勧誘について様々な検討を重ねているが、行政区長の協力も得るとともに、条例

質 問

消防団世帯への一部税の減免等、各種優遇策は考えられないか。

総務課長

消防団員等ボランティアされている皆さんを対象とした減免制度創設については、他県で類似制度を導入しているという例もある。今後の研究課題としてい。

質 問

農地の除染について、深耕基準が30cmなのか。あるいはカリ散布で線量低下するのか。

産業課長

反転工による除染は一定効果はあったが、その後の農作業に困難をきたした例もあった。カリ散布の効果は若干程度だが、希望者には進めたい。



選挙管理委員会 “新” 委員決まる

鏡石町選挙管理委員会委員及び補充員の任期が平成24年12月20日で満了となるため、地方自治法の規定により選挙を行いました。

選挙は指名推薦で行われ、次の方が鏡石町選挙管理委員会の新委員及び補充員に選ばれました。委員及び補充員の任期は4年になります。今回は4年間法に基づき実施される選挙を管理することになります。また、補充員の方は委員に欠員が生じた場合、委員となることとなります。

鏡石町選挙管理委員会

○委員

- 西牧英二氏（鏡沼）
- 小坂橋昭二氏（久来石）
- 渡邊俊廣氏（岡ノ内）
- 大河原八郎氏（東町）

○補充員

- 草野孝重氏（豊郷）
- 石井秀雄氏（高久田）
- 有我忠氏（本町）
- 面川平六氏（中町）

24年度補正予算

震災復興関係等平成24年度一般会計補正予算の主なもの、次のとおりです。

事業内容	補正予算額（単位：千円）
がんばるぞ鏡石震災復興基金積立 （県・ブランドイメージ回復支援市町村交付金）	46,726
東日本大震災復興交付金積立	222,330
災害公営住宅関連児童ふれあい施設整備事業 （児童ふれあい施設設計業務委託等）	26,550



「工事発注の心構えは、どのようなものか」

- 仁井田笠石線の内容
- 震災線越明許費の進捗状況
- 事故線越見込み件数と事由について

小林政次議員

町長
道路建設と安全対策は大切だと考えている。注意を促す標識、路面等にも工夫した道路行政に取り組む。

質問
信号機設置が難しい場合、それに代わる交通安全施設は何を考えているか。

総務課長
道路改良に伴い通行量が増えると考えられる。交通事故未然防止のため、信号機設置を公安委員会に要望する。

質問
道路完成に伴い、町道との交差点に信号機を設置する考えはあるか。

質問
平成25年2月28日を完成時期として進めている。今後電柱移設、安全施設を設置する。

都市建設課長
現在町内では、3カ所の大型車両進入禁止区域がある。この路線についてもその必要性や規制の条件等を検討し、警察署と協議する。

質問
大震災に係る線越明許費事業の進捗はどうなっているか。11月末の竣工件数、事業費、その割合はどうか。

総務課長
竣工件数は46件で58.2%が完了。事業費では全体で12億2千万のうち3億2千万円で25.3%の竣工となっている。

質問
毎月の工程会議では、どのような内容を検討していたか。遅延業者への指導監督はどのようにしていたのか。

都市建設課長
災害復旧事業を取巻く環境として、技術者作業員の人出不足さらには資材の確保が困難といったものがある。線越事業の進捗を把握しながら補助事業優先で発注する。

質問
現在、魅力ある町づくり実行委員会という組織がある。今後は、観光協会や商工会等関係団体と連携し、地域活性化につながるような施策を展開したい。

教育長
各小中学校とも4つの特設クラブがあるが、新学習指導要領によって制限されるものもある。各学校における休み時間の有効活用や教科体育の充実によって、活動欲求が満たせるよう支援したい。

教育長
学力調査によると3教科平均正答率の県の順位は全国22位。体力面は原発事故により活動が制限されたため、体力運動能力の向上には大変厳しい一年でした。

質問
町活性化のためにキャラクター例えば、ご当地ヒーローの活用等の考えはあるか。

産業課長
ご当地キャラクター、B級グルメ等がPR効果が高いことは承知している。今後調査検討したい。

質問
町活性化を検討するために、

質問
個人、団体、若者、女性等広く人材を登用してプロジェクトチームを結成してはどうか。

産業課長
現在、魅力ある町づくり実行委員会という組織がある。今後は、観光協会や商工会等関係団体と連携し、地域活性化につながるような施策を展開したい。

質問
県の補正予算で風評被害に対する予算として、市町村が実施する地域ブランドイメージ回復のための経費が計上されたが、町の具体的な事業実施計画はあるか。

総務課長
本事業はハード、ソフトを問わず、ブランドイメージ低下の回復を図るための交付金であり、平成24年度から26年度までの3カ年度の事業となっている。新年度予算の編成に当たって、効果的な事業を検討する。

質問
工事に係る問題点等を検討してきた。遅延した場合は、業者から理由を明確にさせた上で、必要と判断した場合、工期の延長を指導した。

質問
事故線越は法的にも要件がある。事故線越見込みの件数とその主な理由は何か。

都市建設課長
件数は9件。理由は台風15号により農地災害査定が年度末となり、水田作付の時期に間に合わせるため農地災害を優先して復旧工事を進めた。その結果、道路や下水道工事の工期に変更が生じた。

質問
平成24年度産業建設常任委員会所管事務調査は10月1日（月）から2日（火）に長野県内で行いました。

産業厚生委員会研修
1日は松本市において「畜産振興とまちづくり」を研修。農畜産物生産出荷安定対策事業や畜産農家の臭い対策等を調査しました。

2日には日本一イベントで名高い佐久市の岩村田本町商店街において「商店街活性化」を研修。まちづくり・人づくり型の商店街づくり等を店舗を巡りながら視察調査しました。



岩村田本町商店街視察

「町活性化のプロジェクトチームを」

- 学校と地域ボランティアの連携
- ご当地キャラクター開発計画
- ブランドイメージ回復について

長田守弘議員



質問
小学校特設クラブの実施状況、指導体制はどうなっているか。また、振興策はあるか。

教育長
各小中学校とも4つの特設クラブがあるが、新学習指導要領によって制限されるものもある。各学校における休み時間の有効活用や教科体育の充実によって、活動欲求が満たせるよう支援したい。

質問
中学校の学力・体力及び進捗状況はどうなっているか。

教育長
学力調査によると3教科平均正答率の県の順位は全国22位。体力面は原発事故により活動が制限されたため、体力運動能力の向上には大変厳しい一年でした。

質問
町活性化のためにキャラクター例えば、ご当地ヒーローの活用等の考えはあるか。

産業課長
ご当地キャラクター、B級グルメ等がPR効果が高いことは承知している。今後調査検討したい。

質問
町活性化を検討するために、

質問
個人、団体、若者、女性等広く人材を登用してプロジェクトチームを結成してはどうか。

産業課長
現在、魅力ある町づくり実行委員会という組織がある。今後は、観光協会や商工会等関係団体と連携し、地域活性化につながるような施策を展開したい。

質問
県の補正予算で風評被害に対する予算として、市町村が実施する地域ブランドイメージ回復のための経費が計上されたが、町の具体的な事業実施計画はあるか。

総務課長
本事業はハード、ソフトを問わず、ブランドイメージ低下の回復を図るための交付金であり、平成24年度から26年度までの3カ年度の事業となっている。新年度予算の編成に当たって、効果的な事業を検討する。

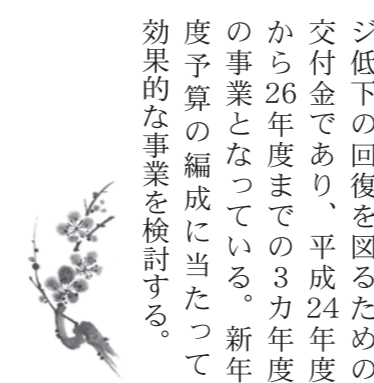
質問
事故線越は法的にも要件がある。事故線越見込みの件数とその主な理由は何か。

都市建設課長
件数は9件。理由は台風15号により農地災害査定が年度末となり、水田作付の時期に間に合わせるため農地災害を優先して復旧工事を進めた。その結果、道路や下水道工事の工期に変更が生じた。

質問
平成24年度産業建設常任委員会所管事務調査は10月1日（月）から2日（火）に長野県内で行いました。

産業厚生委員会研修
1日は松本市において「畜産振興とまちづくり」を研修。農畜産物生産出荷安定対策事業や畜産農家の臭い対策等を調査しました。

2日には日本一イベントで名高い佐久市の岩村田本町商店街において「商店街活性化」を研修。まちづくり・人づくり型の商店街づくり等を店舗を巡りながら視察調査しました。



除染後の仮置場を視察

総務文教委員会研修

平成24年度総務文教常任委員会所管事務調査は、平成24年9月26日（水）から27日（木）に行いました。

26日は山形県中山町において「スポーツ施設を活用したまちづくり」としてひまわりグラウンドゴルフ場を視察。年間4万人の利用者で賑わう施設の運営方法と施設の及ぼす効果を多角的に研修しました。

27日には本県の伊達市において除染事業等放射能対策状況を研修。実際の除染事業を間近で視察しました。



畑 幸一議員

「将来の財政比率をどう改善するのか」

- 自主財源と依存財源
- 実質収支の適正化
- 公債費の内容について

一般質問

質 問 平成23年度の実質収支比率はどうか。その比

総務課長 企業誘致等雇用の場の確保と、雇用環境等についても検討したい。

質 問 全体の7割を超えていると

総務課長 町民税の所得金額では、全体の72.7%となっている。

質 問 町内に町民税課税所得が2

総務課長 一般会計における自主財源比率は27.7%で、依存比率は72.3%である。

質 問 決算における財政公表につ

総務課長 構成比率はどうか。自主財源と依存財源の

質 問 率に適切な範囲なのか。

総務課長 実質収支比率は10.4%である。一般的に3%から5%が望ましいという目安になっている。23年度は災害により高くなっているが、一段落すると戻ってくると予想している。

質 問 財政健全化のために、判断

総務課長 公債費圧縮のために繰上償還を行うとともに、利子が高いものは借り替える等健全財政に努めたい。

質 問 実質公債費比率の早期健全

総務課長 化基準は25%ということだが、町は何%か。

質 問 平成23年度決算では18.5

総務課長 %となっている。



次世代のために健全財政を

質 問 この高比率をどうのよう

総務課長 比率が18%を超えると黄信号となる。今後適正化計画を県と協議し26年度には18%を下回るようにしたい。

質 問 県内でもワースト2位とい

総務課長 うことだが、高比率となった主な理由は何か。

質 問 平成5年から11年度にかけ

町長 て整備した施設建設に係るものや、限戸川土地改良負担金等が主なものである。

質 問 庁舎は耐用年数からする

町長 と、あと10年以上あるが、地震でかなりの被害を受けたため、次年度以降、新築等の将来計画も視野に入れながら耐震補強を計画している。

質 問 役場庁舎も震災により被害を受けたが、基金を崩して大幅に改修するのか。今回は駅東の将来計画もあるので、改修は最小限度に留めるべきと思うがどうか。



明るい未来のために選挙予算を議決

質 問 平成24年12月の衆議院議員総選挙の補正予算等を審議する第4回町議会臨時会は11月21日(水)に開きました。

総務課長 今回の臨時会議案は、平成24年度一般会計補正予算の1件。補正予算案の主な内容は、衆議院議員総選挙に要する補正予算728万円。そして東日本大震災による造成宅地滑動崩落緊急対策事業の補正予算2千5百51万円等、提出された補正予算に関する議案は、原案どおり可決しました。

質 問 平成24年10月23日(火)〜24日(水)まで岩瀬地方町村議会議員協議会(渡辺定己会長)の視察研修が山形県内で行われました。

町長 23日には長井市において、生ごみを土づくりの資源とする地域循環型システム(レインボープラン)を研修。生ごみを発酵して堆肥を作る一連の施設等を視察しました。24日には山形市において、旧山形県庁(ルネサンス様式レンガ造り)の文翔館を視察しました。



生ごみ資源処理を研修

一般質問

「中学校に水泳部の創設を」

- 職員の人事・労務管理
- 田んぼアートの評価
- 役場庁舎改修について



円谷 寛議員

質 問 スポーツの振興による積極的な健康づくりが望まれるが、マレットゴルフのコース整備は考えられないか。

教育長 同種のスポーツとしてゲートボールやグランドゴルフの普及に努めてきた。今後は町民のニーズや費用対効果を踏まえ、検討する。

質 問 町民プールで活動している

教育長 2組の水泳スポーツ少年団があるが、小学生でも立派な泳ぎをしている。保護者から中学校に水泳部が無いのは残念だとの声があるが、創設してはどうか。

質 問 現存する部活動の顧問を確保するのも難しい状況である。先生2人をつけて安全面に最大限の配慮をしているので、新部活動立ち上げは難しい。

教育長 職員の人事労務管理について、職員の採用は広く人材を

質 問 求めるべきと考えるが、現在、学歴条件は必要なのか。

総務課長 採用試験では大学卒業の学歴は条件にしていけないが、大学卒程度の能力を求めた試験となっている。

質 問 職員の各種休暇は適切に取得されているか。教育課では日曜行事も多いようだが、問題はなにか。

総務課長 年次休暇取得は年々低下している。休日等の振替は、各課の状況によって満たしていない状況もあるため改善する。

質 問 町制50周年を契機に、町有地の空地等を有効に活用し、シダレ桜をオーナー制度によって定植してはどうか。

都市建設課長 シダレ桜は町の木として今後も、普及推進に努める。

質 問 田んぼアートの評価について、職員に過重な労働を強い

町長 ているのではないかと。一連の作業をみると、本来の業務が心配になる。次年度からは再検討すべきではないか。

第4回臨時議会 衆院選予算等議決

平成24年12月の衆議院議員総選挙の補正予算等を審議する第4回町議会臨時会は11月21日(水)に開きました。

今回の臨時会議案は、平成24年度一般会計補正予算の1件。補正予算案の主な内容は、衆議院議員総選挙に要する補正予算728万円。そして東日本大震災による造成宅地滑動崩落緊急対策事業の補正予算2千5百51万円等、提出された補正予算に関する議案は、原案どおり可決しました。

岩瀬地方町村議員研修

平成24年10月23日(火)〜24日(水)まで岩瀬地方町村議会議員協議会(渡辺定己会長)の視察研修が山形県内で行われました。

23日には長井市において、生ごみを土づくりの資源とする地域循環型システム(レインボープラン)を研修。生ごみを発酵して堆肥を作る一連の施設等を視察しました。24日には山形市において、旧山形県庁(ルネサンス様式レンガ造り)の文翔館を視察しました。